

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1. 交付金の目的

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するとともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し地方創生を図るため、地方公共団体が地域の実情に応じてきめ細やかに必要な事業を実施できるよう、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」（以下、「臨時交付金」）が令和2年度に創設されました。

2. 事業種別

- ①感染拡大の防止・・・感染防止対策や医療提供体制の整備など
- ②雇用の維持と事業の継続・・・経済的影響を受けた事業者や住民の支援など
- ③経済活動の回復・・・観光需要や消費の喚起など
- ④強靱な経済構造の構築・・・デジタル端末や技術の導入など

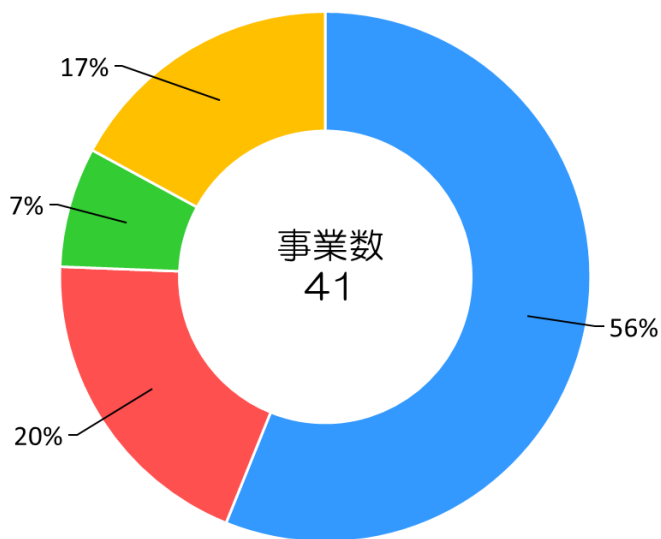
3. 相馬市の交付額

558,035,000円

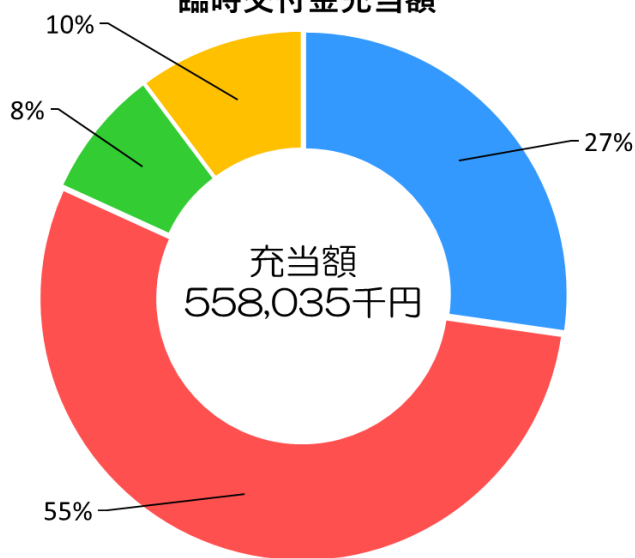
4. 事業種別ごとの集計

事業種別	事業数	事業費（円）	交付金充当額（円）
①感染拡大の防止	23	162,744,621	152,177,735
②雇用の維持と事業の継続	8	304,333,243	304,333,243
③経済活動の回復	3	44,493,430	44,493,430
④強靱な経済構造の構築	7	57,164,592	57,030,592
合計	41	568,735,886	558,035,000

事業数の割合



臨時交付金充当額



■ ①感染拡大の防止

■ ②雇用の維持と事業の継続

■ ①感染拡大の防止

■ ②雇用の維持と事業の継続

■ ③経済活動の回復

■ ④強靱な経済構造の構築

■ ③経済活動の回復

■ ④強靱な経済構造の構築

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 事業実施状況及び効果検証

No	事業名	事業概要	総事業費 (円)	財源		事業 開始日	事業 完了日	事業 種別	実施状況・実績	効果検証
				交付金充当額 (円)	その他補助金 (円)					
1	公共的空間安全・安心確保事業	公共施設（市庁舎、学校、スポーツ施設、文化施設等）での感染防止に必要な備品・消耗品等を購入する。	18,320,802	18,042,862	277,940	R2.4.1	R4.3.31	①	<p>【市役所庁舎・学校等】</p> <p>アクリル飛沫防止パネル：121枚 手指消毒液自動供給装置：16台 足踏み式消毒液スタンド：75台 非接触型体温計：27台 サーマルカメラ（ドーム型）：3台 サーマルカメラ（モバイル型）：41台 会話アシストシステムKicoeri：20台 C O 2 モニター：352台 紙折り機：2台 その他消耗品（アルコール、マスク、手袋など）</p> <p>【中央公民館】</p> <p>ビニール飛沫防止幕用型枠：17個 講師用マイク・スピーカー：18セット サーキュレーター：11台</p> <p>【図書館】</p> <p>図書消毒機：1台（保守費用含む） 空気清浄機：4台</p> <p>【スポーツ施設】</p> <p>網戸設置：2施設 非接触型体温計：26台</p>	<p>【市役所庁舎・学校等】</p> <p>サーマルカメラや消毒液スタンドを設置することで、各施設で来庁者の体温測定及び手指消毒を徹底することができた。 会話アシストシステムにより、飛沫防止パネルを設置時の聞き取りにくさなどを解消することができ、窓口対応を円滑に行うことができた。</p> <p>【中央公民館】</p> <p>各公民館での教室活動時の飛沫対策や換気の徹底を図り、安心して参加できる体制を取ることができた。</p> <p>【図書館】</p> <p>図書消毒機により返却された図書の消毒が効率的に行うことができた。また、窓の少ない館内でも空気清浄機を設置することで感染防止対策を強化することができ、安心して利用できる環境を整えることができた。</p> <p>【スポーツ施設】</p> <p>施設利用者の検温の徹底することができた。また、窓に網戸を設置することで、夜間でも虫等を気にすることなく換気することができた。</p>
2	児童手当現況届郵送受付対応費	窓口申請としていた児童手当現況届について、接触機会を減らし感染拡大を防止するため、返送用封筒による郵送での対応とする。	183,770	183,770	0	R2.6.1	R3.2.25	①	郵送提出件数：1,955件	市役所窓口への来る必要が無くなったことで、接触機会を減らす効果があった。また、不要な外出を控えたいという市民ニーズにも対応することができた。
3	テレビ会議用情報端末導入事業	接触機会を減らし、感染拡大を防止するため、各種会議がネットワーク会議での開催となっている状況に対応するため、必要機器を導入する。	554,438	554,438	0	R2.4.10	R3.1.18	④	タブレットPC導入台数：3台	WEB会議が急拡大する中で、速やかに参加体制を整えることができた。
4	児童生徒のコロナウイルス感染症対策（マスク制作）事業補助金	児童・生徒、園児配布用（小学校、中学校、幼稚園）の布マスクを制作した団体への補助金を支給する。	1,386,000	1,386,000	0	R2.4.23	R2.5.15	①	補助団体：相馬市立学校PTA連絡協議会 布マスク作成枚数：7,000枚	マスクが不足する状況下であったが、子ども達の感染防止に官民連携して取り組むことができた。
5	必需物品供給事業（市独自事業）	妊婦へのマスク配布及び児童生徒家庭への次亜塩素酸ナトリウム水溶液の配布する。	150,200	150,200	0	R2.4.10	R2.4.23	①	妊婦用マスク作成数：400枚・200人分 次亜塩素酸ナトリウム水溶液配布数：2,600本	マスクや消毒液が不足する状況に不安を抱える妊婦や子育て世帯の不安の軽減に効果があった。

No	事業名	事業概要	総事業費 (円)	財源		事業 開始日	事業 完了日	事業 種別	実施状況・実績	効果検証
				交付金充当額 (円)	その他補助金 (円)					
6	公園遊具消毒事業	相馬市尾浜こども公園の利用者が安心して利用できるよう園内の遊具等の消毒を行う。	1,254,000	1,254,000	0	R2.9.17	R3.3.31	①	消毒対象：屋外遊具、屋外トイレ、屋内遊具、 屋内トイレ 消毒回数：57回 10月～12月 週3回（月・水・金） 1月～2月 週2回（火・水） 3月 週3回（月・水・金） ※年末年始、祝日を除く	外で遊ぶ機会が減っている子供たちが安心して遊べる環境を整えることができた。
7	避難所感染防止対策事業	避難所の衛生環境を保つために必要な資材を備蓄する。	58,380,126	56,380,126	2,000,000	R2.7.1	R3.10.20	①	【感染防止対策】 パーテーション（屋根なし）：200個 パーテーション（屋根あり）：800個 簡易テント：36個 その他消耗品（非接触型体温計、アルコール マスク、防護服など） 【分散避難用避難所新設】 備蓄品用プレハブ物置：8個 扇風機、ジェットヒーター	新たに8か所の避難所体制を整えることで分散避難が可能となった。また、既存の避難所にも衛生用品等を備蓄することができたため、R3年福島県沖地震の際も十分な感染防止対策を行うことができた。
8	臨時休業に伴う学習等支援事業	臨時休校中の家庭学習で使用する教材等の郵送する。	71,538	71,538	0	R2.4.2	R2.4.15	①	教材等送付数：687通	臨時休校が児童・生徒の学力に影響を与えない様、家庭学習用の教材等を郵送することができた。
9	臨時休校に伴う相馬市子ども教室事業	臨時休校中の相馬市子ども教室事業に従事した特別支援員等（会計年度任用職員）の賃金	3,470,599	3,470,599	0	R2.4.21	R2.5.22	①	臨時相馬市子ども教室日数：20日 （令和2年4月21日～令和2年5月22日） 従事職員数：24人	臨時休校中の子供たちの居場所を確保することができた。また、子ども教室に従事することで雇用を維持することができた。
10	相馬市中小企業振興事業補助金	商工会議所が実施する市内事業者に対する経済支援事業への補助金を支給する。	26,000,000	26,000,000	0	R2.8.4	R3.3.31	②	①新型コロナウイルス感染症対策見舞金 見舞金：25,000円/1事業所 支給数：898事業所 ②新型コロナウイルス感染症対策テイクアウト応援金 支給額：50,000円 支給数：50事業者 ※補助金には事務費含む	商工会議所には、市内の事業者の多くが加入していることから、事業者自らが必要と感じ発案した事業を支援することができた。
11	新型コロナウイルス対策飲食店等維持支援金	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、特に企業活動に支障が生じている事業者に対し、企業活動の維持又は継続のための緊急支援として給付金を交付する	63,600,000	63,600,000	0	R2.6.18	R2.9.18	②	対 象： 運輸業、宿泊業、飲食店、 生活関連サービス業 支給額： 300,000円/1事業所 支給数：212事業者	外出自粛等の影響を大きく受けた運輸業、宿泊業、飲食店、生活関連サービス業に対して事業継続のための支援を行うことができた。
12	新型コロナウイルス院内感染予防対策支援	市内の一般診療所、歯科が実施する院内感染防止等に要する経費を支援する。	8,000,000	8,000,000	0	R2.8.3	R2.9.1	①	対 象：一般診療所、歯科 支給額： 200,000円/1件 支給数：40件	医療機関での感染防止対策を支援することで、安心安全な医療提供体制の継続につながった。

No	事業名	事業概要	総事業費 (円)	財源		事業 開始日	事業 完了日	事業 種別	実施状況・実績	効果検証
				交付金充当額 (円)	その他補助金 (円)					
13	医療・介護・福祉施設等へのマスク配布事業	市内の医療機関、歯科、障がい介護事業所、薬局の職員へのマスク配布する。	3,069,440	3,069,440	0	R2.8.1	R2.9.3	①	対象：医療機関、歯科、障がい介護事業所、薬局 配布枚数：100枚/人 配布人数：1,724人	マスクが不足する中、市が一括調達・配布することで、医療従事者等が安心して働くための支援をすることができた。
14	「新しい生活様式」対応支援金	市内の事業所が「新しい生活様式」に対応した営業を行うための費用を支援する	145,300,000	145,300,000	0	R2.9.18	R3.3.31	②	支給額：10万円/事業者 支給数：1,453事業者	事業者が新しい生活様式に対応するための経費を支援することで、事業継続・雇用の確保を図ることができた。
15	新しい生活様式に対応した観光事業の創設	宿泊者が利用できる自転車を市内の各旅館に配置し、宿泊者が本市の自然など新たな魅力に触れる機会を創出し、新型コロナウイルス感染症により影響を受けている観光業の復興を後押しする。	12,715,687	12,715,687	0	R2.10.1	R3.3.31	③	レンタサイクル導入数：127台 電動自転車（24インチ） 30台 電動自転車（26インチ） 30台 3段変速自転車 40台 子ども用自転車 27台 レンタサイクル設置施設数：30施設	コロナ禍でも安心して楽しめる、松川浦を活かした新しい観光スタイルを打ち出すことができた。
16	宿泊等助成事業	新型コロナウイルスからの観光再生に向け、観光需要喚起のため、宿泊割引を実施する。	31,238,243	31,238,243	0	R2.9.17	R3.3.29	③	助成額：5000円/枚 申請件数：6,351件 助成券発行枚数：10,826枚 助成券利用枚数：6,111枚 助成券利用率：約56%	コロナの感染再拡大等もあり助成券の利用率は約60%であったがコロナ禍で減少した観光需要を喚起するために一定程度の効果があった。 また、市内や近隣市町村の方々を利用するなどこれまで利用することが少なかった層を呼び込むことができた。
17	スポーツ合宿等助成事業	新型コロナウイルスからのスポーツ観光等の再生に向け、スポーツ合宿等の助成を実施する。 また、スポーツ施設予約システム導入事業と連動することで効果促進を図る。	539,500	539,500	0	R2.9.17	R3.3.16	③	助成額：2,000円/件 助成件数：212件	コロナ禍で大きく減少していた合宿利用を呼び込むことに効果があった。
18	公共施設予約システム導入事業	スポーツ施設の予約システムを導入することで窓口での接触機会を減少させるとともに、利用者の利便性向上を図る。 また、スポーツ合宿等助成事業の効果促進につなげる。	3,018,180	3,018,180	0	R2.10.1	R3.12.23	④	予約システム導入施設数：10施設	予約時の窓口での接触を減少させることができた。また、これまで、開館時間中しか行えなかった予約を時間の制限なく行えるようになり、利用者の利便性向上につながった。
19	肥育素牛導入支援事業	新型コロナウイルス感染拡大防止措置の影響でインバウンド需要の減少により和牛の枝肉価格が大きく下落していることから、和牛肥育農家の経営の継続と産地の維持を図るため素牛導入に要する経費の一部を助成する。	701,900	701,900	0	R2.10.1	R3.3.30	②	補助件数：2件 導入頭数：9頭 補助単価：導入経費の1/10以内（上限100,000円）	肥育農家が減少する中での枝肉価格下落により、地元ブランドの維持が危惧されたが、肥育農家の経営継続及びブランド牛の産地維持を支援することができた。
20	市役所代替窓口整備	新型コロナウイルスの感染症の影響により市庁舎での窓口業務等が行えない場合における代替窓口に必要な機器を整備する。 業務体制維持にはテレワークを含む。	9,995,883	9,995,883	0	R2.10.1	R3.3.31	④	ノートPC購入数：53台	市役所内で感染が確認された場合にも市民生活の影響を与えず行政サービスを継続するための体制整備を行うことができた。

No	事業名	事業概要	総事業費 (円)	財源		事業 開始日	事業 完了日	事業 種別	実施状況・実績	効果検証
				交付金充当額 (円)	その他補助金 (円)					
21	子育てママの安全・安心個別相談事業	保健センターにおける母子個別相談事業での感染防止に必要な物品の購入する。	2,190,925	2,190,925	0	R2.10.1	R3.3.17	①	ノータッチ薬液供給装置：2台 手指消毒液：10本 飛沫防止パーテーション：2台 カウンセリング（机・椅子）セット：2セット スクリーン：4台 スクリーンジョイント：5セット ベビースケール：1台 加湿空気清浄機：1台 両面印刷機：1台	乳幼児健診や母子相談会の会場での感染防止対策を徹底することで、母子が安心して参加できる環境を整備することができた。
22	相馬地方広域市町村圏組合負担金	相馬地方広域市町村圏組合が実施する新型コロナウイルス感染症対策に係る経費の相馬市負担分に充当する。	4,543,000	4,543,000	0	R2.4.1	R3.3.31	①	購入備品・消耗品 サージカルマスク、消毒用エタノール、非接触型スキャン体温計、オゾン式除染装置、オゾン水除染洗浄機、オゾン発生器等	消防署などコロナ感染者が発生すると市民生活に大きな影響を及ぼす施設での感染防止対策を構成市町村が協力して支援することができた。
23	学力向上推進事業	新型コロナウイルス感染症対策での臨時休業による学習機会の縮小に伴い、児童生徒の読解力の把握と分析に基づき、読解力育成による学力向上を図るもの。 また、今年度は全国学力・学習状況調査が実施されないため、児童生徒の学力について現状を分析し、学力向上の指標として実施したい。	4,817,538	4,817,538	0	R2.9.1	R3.3.31	①	RST対象：小学校6年生、中学校1～3年生 RST受験人数：1,432人 教員向け研修：8回	RSTを導入することで、臨時休校や新型コロナウイルス感染拡大が学力にどのような影響を与えているか分析することができた。またその結果を教員へフィードバックすることでコロナ禍に則した授業につなげることができた。
24	GIGAスクール構想に伴うICT教育整備事業	GIGAスクール構想実現のため市内小中学校にタブレットを端末等を整備する。	38,756,949	38,756,949	0	R2.6.1	R3.3.31	④	生徒用タブレット：633台 ※422台分は文科省補助を活用 大型提示装置：60台 体育館用プロジェクター：1台 デジタル教科書：小学校9校・中学校4校導入	交付金を活用することで予算の制約があり整備を見送っていた端末や教材についても整備を行うことができ、GIGAスクール構想を推進することができた。
25	敬老祝金支給事務	地区敬老会で、3密による新型コロナウイルス感染を防ぐため、参集による敬老会を開催せず、お祝いのメッセージの郵送対応とする。また、手渡しで支給していた祝金は、申請による口座振込で対応する。	408,930	408,930	0	R2.8.14	R3.3.31	①	お祝いメッセージ送付数：3,350通 祝い金郵送申請数：2,105通	重症化リスクの高い高齢者へ外部との接触を減らしつつ敬老祝金をこれまで通り支給することができた。また敬老祝い金支給に伴う窓口の3密を回避することができた。
26	新型コロナウイルス電話相談窓口事業	市内で感染者が発生した場合などにおいて、市民の不安に対する相談や情報提供を行う必要があるため、専用の電話相談窓口を設置する。	314,600	314,600	0	R2.5.1	R2.7.10	①	電話相談窓口開設数：4	市民からの相談体制を早期に構築でき、市民の不安払拭や正しい情報の提供を行うことができた。
27	発熱外来設置事業	発熱者と一般患者等が病院内で接触することがないように発熱外来を設置する。	2,760,197	2,760,197	0	R2.4.8	R3.2.19	①	発熱外来設置日：4月8日 ※5月7日以降の費用については、福島県が負担	福島県の体制・制度が整う前に市独自で発熱外来を設置することができ、安心安全な医療供給体制を維持することができた。
28	新型コロナウイルス感染症関連「特別利子補給」【基金造成事業】	新型コロナウイルス感染症による影響を受け、福島県緊急経済対策資金融資制度などの「新型コロナウイルス感染症特別資金」等により借入れを行った中小企業者などに利子補給補助を行う。	20,706,046	20,706,046	0	R2.9.1	R3.4.23	②	申請件数：28件 利子補給補助金額（総額）：20,706,0496円 R2年度分：7,697,046円 基金積立額：13,009,000円	コロナ禍で売上が減少する事業者へ利子相当額を支援することで、事業継続につながった。
29	新型コロナウイルス感染症関連「特別信用保証料」	新型コロナウイルス感染症による影響を受け、福島県緊急経済対策資金融資制度などの「新型コロナウイルス感染症特別資金」等により借入れを行った中小企業者などの信用保証料補助を行う。	10,740,705	10,740,705	0	R2.9.1	R3.4.9	②	申請件数：30件 信用保証料補助金額：10,740,705円	コロナ禍で売上が減少する事業者へ信用保証料を支援することで、事業継続につながった。

No	事業名	事業概要	総事業費 (円)	財源		事業 開始日	事業 完了日	事業 種別	実施状況・実績	効果検証
				交付金充当額 (円)	その他補助金 (円)					
30	第2次新型コロナウイルス院内感染予防対策支援	市内の一般診療所、歯科が実施する院内感染防止等に要する経費を支援する。	12,000,000	12,000,000	0	R2.10.7	R2.10.27	①	対象：一般診療所、歯科 支給額：300,000円/1件 支給数：40件	医療機関での感染防止対策を継続的に支援することで、安心安全な医療提供体制の継続につながった。
31	新生児子育て臨時特別給付事業	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯を支援するため、特別定額給付金の対象外である、令和2年4月28日から令和3年3月31日に生まれた新生児1人あたり10万円を支給する。	19,322,092	19,322,092	0	R2.10.1	R3.4.23	②	支給額：100,000円/1人 支給数：193人	コロナ禍で不安を抱えながら妊娠期を過ごし、出産した家庭の経済的負担を軽減することに寄与した。
32	議会タブレット端末整備事業	市議会議員と市役所職員等の接触機会を減らし感染拡大を防止するとともに、感染が拡大した場合でも、議会機能の維持のために必要となる機器を整備する。(議会機能維持には、テレワークを含む)	2,518,736	2,518,736	0	R3.1.3	R3.7.15	④	タブレット導入数：22台(議員18台、事務局4台)	3密対策を行いながらも、議員活動を行うことができた。また、議会事務のDXやペーパーレス化の推進を図ることができた。
33	地方消費者行政強化交付金	専門家による無料困りごと相談をオンラインで実施することにより、相談者と専門家の接触機会を減らし、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐ。	403,766	269,766	134,000	R2.9.24	R3.3.31	④	端末導入数：2台 オンライン相談開始日：2020年12月1日～	無料困りごと相談は個室で対面で実施しており、感染リスクが高い状況であったが、オンラインを活用することで相談者・専門家双方が安心して相談できる体制を整えることができた。
34	第3次新型コロナウイルス院内感染予防対策支援	市内の一般診療所、歯科が実施する院内感染防止等に要する経費を支援する。	16,000,000	16,000,000	0	R3.3.10	R3.4.27	①	対象：一般診療所、歯科 支給額：400,000円/1件 支給数：40件	医療機関での感染防止対策を支援することで、安心安全な医療提供体制の継続につながった。
35	新型コロナウイルス高齢者施設等感染予防対策支援	市内の高齢者・障がい者福祉施設等が実施する院内感染防止等に要する経費を支援する。	4,310,000	4,310,000	0	R3.3.10	R4.3.25	①	支援事業所数 高齢者福祉福祉施設：41事業所 障がい者福祉施設：21事業所	重症化リスクの高い高齢者等が利用する施設での感染防止対策を支援することができた。
36	オンライン会議システム等導入事業	オンライン会議用システムを導入することによる接触機会の減少及び職員用情報共有システムの導入によるテレワーク環境等の整備する。	1,916,640	1,916,640	0	R3.3.10	R3.3.31	④	導入システム オンライン会議システム「ZOOM」 職員情報共有システム「LoGoチャット」	会議や打合せにおける接触機会を減少させることができた。また、移動時間等が無くなり業務の効率化を図ることができた。
37	学校保健特別対策事業費補助金【国庫補助事業】	学校再開等にあたり集団感染のリスクを避けるため、保健衛生用品等を整備し、幼児、児童及び生徒が安心して学ぶことができる体制の整備を促進する。	961,000	481,000	480,000	R2.6.9	R3.3.31	①	非接触型体温計購入数：125台 ※うち94台対象	市内小中学校の各教室に1台非接触型体温計を設置し、毎日体温測定を行うことで、学校内での感染防止を図ることができた。
38	学校再開に伴う感染症対策(相馬市単独事業)	学校再開等にあたり集団感染のリスクを避けるため、保健衛生用品等を整備し、幼児、児童及び生徒が安心して学ぶことができる体制の整備を促進する。	304,000	304,000	0	R2.6.1	R2.9.15	①	非接触型体温計購入数：125台 ※うち31台対象	市内小中学校の各教室に1台非接触型体温計を設置し、毎日体温測定を行うことで、学校内での感染防止を図ることができた。
39	学校保健特別対策事業費補助金【国庫補助事業】	学校再開に伴い、児童生徒、教員等の感染症対策に必要な物品等の購入及び児童生徒の学びの保障のための体制を整備する。	15,558,946	7,750,000	7,808,946	R2.7.1	R3.3.31	①	デジタル教科書：小学校・中学校 修学旅行キャンセル料：中学校4校 給食室用スポットクーラー：12台 ハンディ型体温測定用サーモグラフィ：13台 アルコールスタンド：15台 その他(アルコール、マスク等)	学校内での感染防止用消耗品の購入や修学旅行のキャンセル料など新型コロナの影響により追加となった費用に活用することができた。

No	事業名	事業概要	総事業費 (円)	財源		事業 開始日	事業 完了日	事業 種別	実施状況・実績	効果検証
				交付金充当額 (円)	その他補助金 (円)					
40	第2次相馬市中小企業振興事業補助金	商工会議所が実施する市内事業者に対する経済支援事業への補助金を支給する。	17,962,500	17,962,500	0	R3.3.10	R4.3.17	②	販売数：12,000セット 換金数：11,975セット 換金率：99.8%	コロナ禍での外出自粛により売り上げが減少している飲食店や市内商店と経済的負担が増している市民の双方を支援することができた。
41	新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業 (令和2年度予算分)	ワクチン接種を安全かつ迅速に実施し、新型コロナウイルスの影響で疲弊している市内経済の早期の立て直しを図る。	4,289,010	4,289,010	0	R3.3.10	R3.3.19	①	集団接種会場整備 電源コンセント（デュープフリーザー用）修繕 会場入口段差修繕 備品購入費 多機能電話機：8台 ノートパソコン：27台 送迎用車両回収 オートステップ等取付	市民が安全安心にワクチン接種を受けることができる体制を早期に整えることができた。
合計			568,735,886	558,035,000	10,700,886					